Ⅱ 過程評価

※事業所がどうなのかをご記入ください

3．日常生活の支援　（スタッフ数　20名）　第50回　事業所評価　提出期限　令和5年　11月　29日（水）　氏名　開催日：R5/12/13（水）18時～

番号	タイトル	項目番号	項目	出来ている	ほぼ出来ている	出来ていない	全く出来ない	コメント	改善策	運営推進委員様からのアドバイス
③	３．日常生活の支援	①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか？	1	5	13	1	出来ている事 ○　ある程度の把握はできている ○　送迎や訪問に行くことで、その方の暮らしが把握しやすいと思う ○　フェイスシートで共有できるようにしている ○ ○ ○ ○ ○ 出来ていない事 ○　担当利用者以外の把握が出来ていない ○　フェイスシートの確認は出来ているが、10個以上となるとなかなか把握出来ていない ○　外国人職員はまだ理解出来ていない ○ ○ ○ ○	○日本人職員がもっと外国人職員に伝えていき、外国人職員も把握できるようにしていく。 ○担当者が、もっと情報を発信していく。 ○朝礼でも、情報を発信していく。 ○担当者任せではなく、普段から気付いた事があれば、積極的に質問等していく。	
		②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか？	8	10	2		出来ている事 ○　その日の利用者の体調や状態に合わせて介助が出来ている ○　本人のその時の状況に合わせて食事形態を変えたり、パット類の選択をしたり、対応出来ている ○　外国人職員にも状況を伝え、その日に合わせた介護が出来ている ○ ○ ○ ○ 出来ていない事 ○　外国人職員は連絡帳に記載があっても理解が難しい場合もあるので、日本人職員から伝える必要がある ○ ○ ○ ○ ○ ○	○まず、日本人職員も、連絡帳などをしっかり読んで、理解する事。状況も変わるので、分からなければ質問する。 ○連絡帳などで共有する時は、まずは結論を記載し、何故そうなったのかを記載すると覚えやすい。	
		③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか？		9	10	1	出来ている事 ○　状況を確認し、変化があれば共有し出来ている ○　ケアカンファレンスの場で、対象利用者の様子や気落ちを皆で考えられている ○ ○ ○ ○ ○ 出来ていない事 ○　なかなかミーティングが出来ていない ○　声にならない声はなかなか拾えていない ○　忙しいを理由にそのままにしてしまっていることがある ○ ○ ○ ○	○もっと利用者の声に耳を傾ける、向き合う。 ○日本人職員と外国人職員との配置バランスを考える ○変わった事があったら、連絡帳で共有し、その日の職員で対応する。 ○ケース記録に入力する。 ○しっかり関わり、共有する。	
		④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか？	6	14			出来ている事 ○　状態の変化があれば、看護師に相談したり、ご家族へ連絡し、共有し対応出来ている ○　会議などでの話し合いが出来ている ○　連絡帳を活用し共有できている ○ ○ ○ ○ 出来ていない事 ○　職員によっては異変の報告が出来ていないことがある ○　気持ちの面での共有が出来ていないことがある ○ ○ ○ ○ ○	○もっと利用者の声に耳を傾ける、向き合う。 ○日本人職員と外国人職員との配置バランスを考える ○変わった事があったら、連絡帳で共有し、その日の職員で対応する。 ○ケース記録に入力する。 ○しっかり関わり、共有する。	
		⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか？	4	13	3		出来ている事 ○　その時の体調や希望に合わせ対応出来ている ○　看護師と連携し、救急搬送などの対応も出来ている ○　外国人職員も利用者様が何を訴えられているか分からない時は、日本人職員に声をかけ、対応出来ている ○ ○ ○ ○ 出来ていない事 ○　連絡帳等で共有しているが、日々の情報量が多く、抜けてしまうこともある ○ ○ ○ ○ ○ ○	○抜けてしまう情報もあるので、違った事をされていたら、声を掛けながら皆でフォローし合う。	

前回の改善計画	○カンファレンスのあり方を見直す。 ○カンファレンスも、見ている人、見ていない人がいるので、まずは、そこからしっかり確認をする。 ○何かあれば、すぐに対応出来る様に、朝礼時等で共有する事 ○カンファレンスの時間を少し設けても良いのでは。 ○例えばリハを集約しているが、誰々には特に足の運動を中心にして欲しい等の具体策が、どこに向かうのかをはっきりさせると取り組みやすい。 ○日々のケアの中に盛り込まれているのなら、見える化を図った方が良いと思う。 ○担当職員が、もっと関わり、発信していく。		出来ている事 ○　カンファレンスの有り方を見直し、日中に検討の時間を設け開始している ○ ○ ○ ○ ○ ○ 出来ていない事 ○　担当職員があまり関われていない ○　決まったことを各自が把握できていないこともある。目からだけではなく、耳から情報を入れることも必要 ○ ○ ○ ○ ○	○カンファレンスは11月から始める。 ○会議でも担当利用者の事を担当職員がもっと発信していく。	